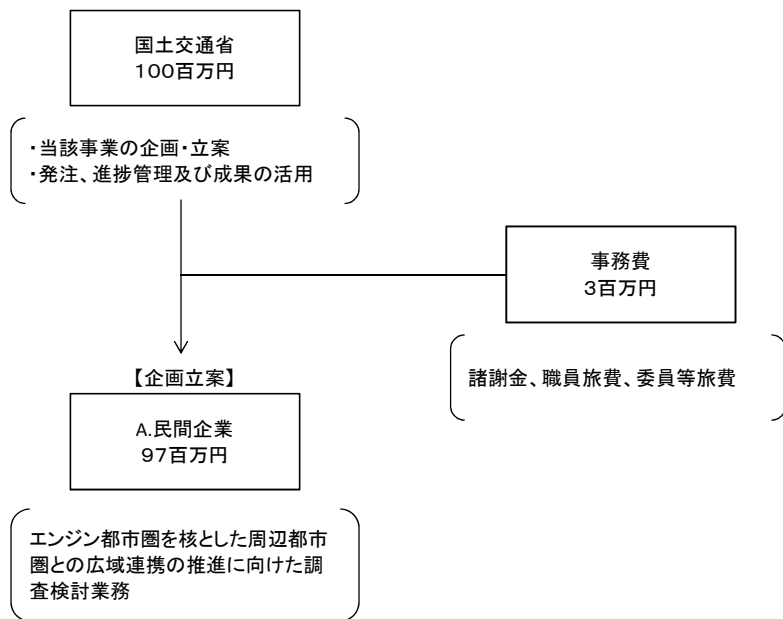


平成25年行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	新たな地域課題に対応した広域連携の推進 (エンジン都市圏を核とした周辺都市圏との広域連携の推進)		担当部局	国土政策局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H26～		担当課室	広域地方政策課		課長 白石 秀俊		
会計区分	一般会計		政策・施策名	10 国土の総合的な利用、整備及び保全、国土に関する情報の整備 37 総合的な国土形成を推進する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本格的な人口減少時代の到来や財政制約の強まりが見込まれる中、時代の変化に対応した地域ブロックの圏域構造の転換を図る。具体的には、ブロック全体の成長を牽引するための人・モノ・サービスの集積・移入が大きく、それを支える高次の都市機能を有する都市圏を、「エンジン都市圏」とし、その機能を最大限に活かしつつ、周辺都市圏との広域連携によるブロック全体の発展を可能とする新しい広域ブロック形成の方向性を提示し、先導的な広域連携を促進することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	地域ブロックの成長力を維持・発展していくためには、ブロック内の各都市圏のフルセット型の整備により均衡的な発展を目指すのではなく、エンジン都市圏が有する高次の都市機能の強化を図るとともに、これと周辺の各都市圏の強みを結びつけることにより、選択と集中を通じたブロック全体の戦略的発展を図ることが必要とされているところである。 このため、上記視点に基づく分析を定量的に行うとともに、新たな地域課題に対応した広域連携のあり方について検討を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算					100	
		繰越し等						
		計					100	
	執行額							
	執行率 (%)							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	各都市圏の特性を活かす、より効果的・効率的な広域連携を図るために調査を行うものであり、本調査自体が定量的な活動指標を定めて実施するという性質ものではない。	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%					
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	調査実施件数		活動実績 (当初見込み)		-	-	-	-
単位当たりコスト	-		(円/)	算出根拠				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	-	0	新しい日本のための優先課題推進枠 100				
	職員旅費	-	2					
	委員等旅費	-	1					
	国土形成推進調査費	-	97					
計	-	100						

事業所管部局による点検					
	項目		評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	全国8ブロックにおいてエンジン都市圏となり得る都市圏の機能を、地域ブロック内において担っている役割(周辺都市圏との人・モノ・サービス等の流動状況)や、将来推計等を用いた長期展望の中での国土のあり方を検討することが必要であるため。また、同時にエンジン都市圏の機能を最大限に活かした地域ブロック全体の発展に資する周辺都市圏との広域連携のあり方について、定量的な分析・検討を行うこととしており、広域での調査・検討が必要である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○		
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		—		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	平成26年度新規要求事項	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	平成26年度新規要求事項	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名		
点検結果	<p>○各ブロックにおけるエンジン都市圏を中心として、周辺の各都市圏の強みを結びつけ、選択と集中を通じたブロック全体のあり方を示すことが重要であり、各地域に共通する広域連携に係る隘路を抽出し、共有していく上で国の関与が必要である。</p> <p>○平成25年6月14日に閣議決定された「日本再興戦略」において「人口が減少する中でも、(略)都市の活力の維持・向上を図る」とされていることから、日本再興戦略に沿った取り組みである。</p> <p>○事業の実施にあたっては、進捗状況等の把握に努めることにより、効率的な予算の執行を図っていく。</p>				
外部有識者の所見					
-					
行政事業レビュー推進チームの所見					
-	多様な主体・地域の相互連携による新しい地域づくりを通じた経済・地域の活性化の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
-	-				
備考					
-					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年	-	平成23年	-	平成24年	-

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
a					
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					